

# 個人質問

6月定例市議会では、三十人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

## 一般・行財政



### 合併特例区の活動状況

問 御津・灘崎地域に設置した合併特例区の評価は。

答 合併に伴う不安解消と新市の一体性確立に向け、公の施設の管理や地域の特色ある事業を独自に行っており、合併特例区協議会では、新市建設計画の推進や特例区が行う事務について熱心に協議している。また、乳幼児医療費助成制度の対象年齢の統一や灘崎地域における水道水供給についての要望書の提出等、地域の声を集約し行政に反映させるなど、自治意識向上の役割を担いつつあると考える。

### 戦災建物を次世代に継承し 平和を啓発

問 民間で戦災建物等のマップを作成しているが、市としてもマップを作成し、記録として

保存すべきでは。

答 民間が作成したマップ等の資料を活用しながら、市とし



戦災の記憶を後世に(田町橋)

ては、今後も引き続き、岡山空襲の痕跡をとどめる建物等に説明板を設置することで、市民への平和啓発に努めたい。

### 市民事業仕分け 試行結果を受け本格実施へ

問 平成17年度に試行した市民による事業仕分けを受け、本

格実施に向けた改善点は。

答 改善策として①市民評価者は公募の上、性別、年齢、職業区分ごとに公開抽選し選定する②司会者や質問者を学識経験者とし、論点整理をした上で市民評価者が議論できるようにする③事務事業の説明は、施策提起をするような形で、簡潔で要を得たものとするーことを考えている。

### 行政サービスの棚卸し 来年度予算に反映

問 需要が少ない行政サービスを洗い出して統廃合する行政サービス棚卸しの見通しは。

答 平成18年7月上旬をめどに全事務事業の行政サービス基本台帳を作成し、事業優先度が低いものうち、トータルコストが大きく市民に価値観を問うべき政策的事業は市民事業仕分けを、それ以外は庁内事業仕分けを行う。結果はホームページ等で公表し、市民からの意見聴取を経て事業の統廃合を決定し、可能な限り19年度予算に反映させたい。

### 入札・契約制度改正 市民の信頼確保に向けて

問 国や県では入札制度の見直しが行われているが、本市における改革の内容は。

答 市の公共工事に対する市民の信頼確保のため、透明性・公正性・競争性の向上を目指し、入札・契約制度の改正を毎年行ってきた。平成18年度は御津・灘崎両支所の入札契約事務の統合、最低制限価格の見直し等を予定しており、7月1日からの実施に向け、入札参加の有資格者に改正内容の資料を郵送し、

市民には市のホームページに掲載することで周知を図りたい。

### 国民保護計画 本年度末公表へ

問 国民保護計画について①策定スケジュールは②市民の意見の反映は。

答 ①平成18年9月頃をめどに協議会を設置し、県との協議を経た後、18年度末には計画を公表する予定だ②協議会自体が市民の意見を求めるために設置するものだが、さらに幅広く意見を聞くため、パブリックコメントを含め手法を検討したい。

## まちづくり

### 全国緑化フェアにあわせ 一体的な市街地緑化を推進

問 ①全国都市緑化フェアに向け、幹線道路や公園の樹木を再整備しては②市の植樹計画に取り組んでは。

答 ①地元や関係機関と協議しながら、市役所筋、桃太郎大通りといった主要道路や、西川緑道公園や岡山城、後楽園への歩行者導線を緑や花で飾るプロムナードとして整備したい②街路樹や公園等の緑は都市の魅力



緑豊かな市街地を演出(市役所筋)

